

三心を磨く

学校だより No. 9

令和2年12月7日(月)発行

須坂市立東中学校

文責: 嶋田 和美 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

令和2年度 10・11月の東中の様子 ～東祭後の生徒の姿から～

「東祭」を終えた10月、11月、二学期後半、コロナ禍の中でしたが、一年生も学校生活に慣れ、学習に、部活動に熱心に取り組んでいます。二年生も、生徒会の引継ぎの準備を始め、先日は、来年度の生徒会三役が選挙にて選ばれました。三年生は、生徒会活動や部活動を二年生にバトンタッチし、いよいよ一人一人具体的な進路決定に向けて動きだしました。

校長講話 ～自ら問題を見つけ 自主的に探究する～



日 EU 経済連携協定第1回合同委員会



10月の校長講話は、11月の人権教育強調月間に先駆けて人権に関わる内容を「クラウドを活用したオンライン対話型」で行いました。

登校後、各クラスのリーダーが google classroom に接続し、8:15、オンラインによる校長講話がスタートしました。まず、講話の流れが google meet を通じてスライドで示され、次に、スライドで1枚の写真が提示されました。

この写真をもとに、生徒は「EU側のメンバーと日本側のメンバーの違い」について、自分で考えたり、班の仲



間と意見交換をしたりし、各班のリーダーが班で出された考えをまとめ、google フォームに入力をしました。その後、校長先生がフォームに入力された結果を即時に meet で提示し、全校で出された意見を共有することで、生徒は多様な考えに触れていきました。

最後に、校長先生が「この写真は、日本社会のどのようなことを象徴していると考えますか？また、そのような日本社会の現状について、

皆さんはどう考えますか？」と生徒に問いかけ、そして、「正解がない、正解が一つではない問いがあり、自ら問題を見つけ、自主的に探究する東中生になってほしい。生徒と教師が共に、新しい学びを創っていきましょう」と語られ、問いと願いへの余韻が残る中、校長講話が終了しました。問いかけは、google classroom に投稿され、後日、考えを記入してもらいました。

日本社会のどのようなことを象徴しているからだと思いますか？

また、そのような日本社会の現状についてどう考えますか？

私は「日本側の服装は統一されているけど、EU側の服装は統一されていない」という点に着目しました。このことは日本社会の中で協調性が極めて重視されていることを表していると思います。協調性が強いことには長所も短所もあると考えています。協調性がある集団では、お互いが察しあうことによってストレスが少なく、ある程度楽しい生活が送れると思います。以前、日本人は察することを他国の人より無意識に重視していると聞きました。私自身も何となく相手の気持ちを察して言動を見直すことによって避けられてきた衝突があったと感じているので、穏便な生活が送れるという面で協調性があることは良いことだと思います。

しかし、みんながみんな協調性を持ちすぎると文化や化学は発展せず、穏便でつまらない生活が多く生まれてしまわないかが心配です。インターネットでも電球でも何でもそうだと思いますが、新しいものを作る為には新しい考えが必要だと思います。協調性を持つことによって新しい考えが少なくなってしまうことは課題だと思います。

では、どうすればいいのかと考えてみると私が一番真っ先に思いついたのが生徒会活動です。アズマフラワーガーデンや東祭などは全員で同じ目標に向かって頑張る。東ミーティングでは自分だけの意見でもどんどん出す。そういったことが両方しっかりできれば、社会の協調性も大切にしつつ新しいものが生み出せると思います。このような力を学生のうちから身に付けておくことが、日本の社会をより良くするために大切なことだと考えました。【3年女子】

卒業学年親善音楽会～東中代表として（3年）

10月14日、今年度の「須坂市中学校卒業学年親善音楽会」は、感染症拡大防止のため、無観客、goolightの撮影・放映の形で、行われました。当日の発表は、東中生として1，2年生に引き継ぎたい伝統や誇り、魂などが歌声から伝わってきました。



小林雅彦教育長先生からご講評をいただきました。

「時を越えて」（曲名）の中に、「ここまでの道のりが、長く厳しかったこと、たくましくなった君の背中が教えてくれる」という歌詞がありますが、まさに今のあなた方のことをいっているような歌詞だと思います。その歌を、一音一音ていねいに歌い込んでいく皆さんの合唱がとても印象的でした。歌詞の魂（詩魂）が感じられる合唱ですてきだなあ、とも思いました。

校歌は20周年にふさわしい美しいハーモニーに彩られた合唱でした。各パートがきちんとあるべき場所にあるべき音がある。これはなかなか表現できないことなのに、あなた方は、ちゃんとやっている！すごいことです。東中の団結する力がそのまま歌になっていました。

修学旅行～無事にいってきました。（3年）

3年46名で10月28日、29日に修学旅行に行ってきました。

4月に京都・奈良に予定していた修学旅行でしたが、新型コロナウイルスの影響で京都・奈良方面への修学旅行は断念せざるを得ませんでした。しかし、目的地を北信地域に変更し、沢山の方々のご協力のお陰で無事に2日間の修学旅行に行くことができました。

横手山山頂にて（1組）



宿舎（美湯の宿）前にて（2組）



【生徒の感想】

バスの添乗員さんや見学地のガイドさんの話を聞いて、その場所の特徴を感じ取ることができました。また、長野県の魅力を知ることができました。

松代大本営では、戦争の時のお話を聞いて、本当に悲しい出来事だったと改めて思いました。戦争を知らない世代として、歴史についてしっかり学んでいきたいと感じました。

奈良、京都に行けず、残念な気持ちが最初はあったが2日間の県内旅行を終えてみると、とても楽しくて2日間では足りないと思うほど楽しむことができました。長野のよさを再発見すると共に、3学年で沢山の思い出をつくることができました。



松代地下壕にて



戸隠神社中社にてお参り



信州フルーツランド

ICTを活用した実践授業～生徒の主体性を引き出す

コロナ禍での臨時休業中から、少しずつタブレット端末とクラウドを利用した授業を行っています。今では、各授業で「35台のタブレット端末」の争奪戦になっています。

GIGA スクール構想の実現に向けて、「生徒と教師が共に新しい学びを創る」、東中の挑戦を続けています。



「お気に入りの国を紹介しよう（英語）」の授業の様子から



前時までに、班で発表用の資料を作成し、本時は、発表の工夫を考えてから発表を行いました。クラウド上にある他の班の資料を見て、分からないことがあれば、班を越えて聞きにいき、お互いに教え合い、先生も生徒に混じって一緒に考えながら、生徒と共に発表用の資料を作っていました。

そして、作成した資料をもとに全ての班が発表を行った後、google フォームを用いて、発表の感想を共有したり、活動を振り返ったりして、授業が終わりました。発表用資料の作成や発表等、生徒は主体的に活動に取り組み、そして、その主体性を活かして、英語による表現力を育てていった授業となりました。



須坂荘へ「歩行器」贈呈式

日頃よりお世話になっている「須坂荘」さんへ、10月20日 JRC 交流正副委員長が代表して「歩行器」を贈呈してきました。本年度は、「須坂荘」さんの希望もあり、「歩行器」とさせていただきます。利用者の方もたいへん喜んでおられました。

なお、「歩行器」の費用は、資源回収費より支出しました。

また、資源回収費につきましては、生徒会費、卒業証書ホルダーや周年記念事業の運営費に活用していきます。



資源回収へのご協力ありがとうございました。



令和2年度 資源回収 (11月現在)

	古紙	アルミ缶・瓶
4月	4,550円	8月 51,155円
5月	2,980円	
7月	3,620円	
8月	96,450円	※8月は PTA 主催の資源回収です。
9月	710円	
11月	3,180円	

東中学校では、回収コンテナを玄関前に設置し、定期的にダンボール・新聞紙・古紙の資源回収を行っています。今後、回収期日についてお知らせいたしますので、地域の方のご協力をお願いいたします。

10月の様子から アズマデーより



車イス体験・3年



高齢者疑似体験・3年



高校生の話を聞く会・3年



川崎昭仁さんの講演と演奏・3年



ハローワーク講演・2年



進路講演・2年



キャリア講演・2年



防災プログラム研修・1, 2年



宇原川土石流災害(56災害)講演・1年



傷病者搬送体験・1年



哲学ランドアート・1年

10月19日(月)と20日(火)に「アズマデー」がありました。2年の「職場体験学習」が中止になりましたが、3年は「福祉」2年は「仕事や進路」1年は「防災」に関わる講演を聞いたり体験活動を行ったりしました。

11月の様子から



教室訪問



生徒会三役選挙(24日)



東三校社会公開授業(4日)



読書旬間・ビブリオバトル(5日)



避難訓練(6日)



アズマフラワーガーデン片付け(17日)



校内公開研究授業



タブレットを使った共同作業



オンラインでの相互通行型授業

1年生は、学校生活にも慣れ、学習や部活動に意欲的に取り組んでいます。2年生は、先日役員選挙を終え、いよいよ来年度の生徒会に向けて、学年全体で着々と準備を進めています。3年生は、中学校生活のまとめ、そして、卒業後の進路を切り拓くために、一人一人が頑張っています。